

インフルエンザ



インフルエンザウイルス (A 型、B 型) による感染症です。
 2009 年に新型インフルエンザ H1N1 が発生し、各型 (H1N1 は A 型のひとつ) の流行状況に変化が現れています。
 潜伏期間は通常 1~2 日、長くて 7 日。感染経路は飛沫あるいは接触感染です。



《**症状**》 38℃以上の発熱、咳、咽頭痛、全身倦怠、下痢などです。熱はたいてい 2~3 日で下がりますが再発熱することがあり、すっかり治るには 7~10 日ほどかかります。

《**診断**》 流行状況と症状、診察、検査 (綿棒で鼻の奥をこする) で診断されます。検査は発熱してすぐには感度が低い (検査に出にくい) 傾向があります。

《**治療**》 抗インフルエンザ薬を服薬すると、熱の期間を短くし、症状を軽くするのに役立ちます。このほか必要に応じて感冒薬や解熱剤などの対症薬が処方されます。

《**予防**》 インフルエンザウイルスは変異するので、毎年予防接種を打ちます。ただし、ワクチンだけでは予防効果が不十分なので、体調維持に気をつけ、外出から帰ったら手を洗い、うがいをしましょう。咳やくしゃみをする人はマスクをしましょう。

《**合併症**》 小児の場合は、熱性けいれん、中耳炎などが知られています。重症では肺炎、脳症、心筋炎などがあります。呼吸が速く苦しそう、顔色が蒼白ないし紫調、水分摂取が少ない、嘔吐を頻回に繰り返す、意識または意思の疎通がおかしい、機嫌が悪く抱っこされると嫌がる、などが重症化の徴候とされています。これらの症状では、日中ならかかりつけ医療機関、夜間や休日であれば適切な受診施設 (急病診療所あるいは佐世保市消防署 0956-23-8199) にお問い合わせください。ただし、インフルエンザにかかった子供の重症化は決して多いわけではなく、代表的な重症合併症である“インフルエンザ脳症”の発生頻度は、インフルエンザにかかった人の約 1 万分の 1 です。



※家庭での注意点※ ~~~~~

- ・ 基本は安静と睡眠、水分補給です。出来る範囲での栄養補給も大切です。
- ・ 食欲がなければプリンやゼリーなど飲み込みやすいもの、下痢がなければアイスクリームをあげても構いません。水分の他、スープ類は塩分が補給できるのでお勧めです。
- ・ 入浴は、熱が引いて元気が出てきてからにしましょう。

「学校・幼稚園・保育園は？」 ~~~~~

他の人にうつさないために、熱が下がって 48 時間経過するまで学校や幼稚園、保育園は休みます。抗インフルエンザ薬を服薬している場合は、服薬期間のうちは休ませるべきかもしれません。

